

令和7年度 十勝型フードシステム形成プロジェクト キックオフシンポジウム

～ 農畜産と食品加工の連携による価値創出～

参加費

無料

要事前
申し込み

定員 120名

2026

3/27 金

15:00-17:00
(開場 14:30)

会場

とかちプラザ2階 視聴覚室

〒080-0014 帯広市西4条南13丁目1

お申し込み方法

参加申込みはgoogleフォームにて受付中

<https://forms.gle/muJ5g6YtbwZgRyCN9>

申し込み締切：3月25日(水)



※お申し込みが多数の場合は、
受付を早めに締め切らせていただく場合がございます。

開催概要

帯広市では、国の「地方大学・地域産業創生交付金」を活用し、地域の基幹産業である農畜産業と食品加工業の連携等を通じて、地域の持続的な発展を目指し、産学官連携による取組みを推進しています。

本シンポジウムは、令和7年10月から開始した本事業の目的や目指す将来像、具体的な取組み内容について、農業者や生産団体、関連事業者をはじめ、学生・住民の皆様と理解を深めることを目的として開催します。

本シンポジウムを契機として、更なる地域連携を図り、新たな価値創出と持続可能な地域づくりにつながる取組みを一層推進してまいります。

プログラム

15:00～	開会挨拶	帯広市長 米沢 則寿 北海道国立大学機構 理事長 長谷山 彰
15:05～	事業理念紹介	とかち財団 理事長 金山 紀久
15:30～	取組事例・トークセッション	モデレーター：帯広畜産大学 准教授 東 陽介
	・次世代堆肥化ロボットの高度化と堆肥利用による資源循環の促進	
	・未利用資源活用・新技術活用による新商品開発	
	・3大学連携における融合教育の展開と大学改革	
16:45	閉会挨拶	帯広畜産大学 学長 長澤 秀行
16:50	名刺交換会	



十勝型 フードシステム 形成プロジェクト

事業説明01 次世代堆肥化ロボットの高度化と堆肥利用による資源循環の促進

宮竹 史仁

帯広畜産大学
環境農学研究部門 農業環境工学分野 教授



堆肥づくりの難しさや人手不足といった課題を解決するため、専門知識がなくても良質な堆肥を安定生産できる次世代型堆肥化ロボットを開発しています。小規模から大規模まで対応し、省人化・省エネ化を図りながら、環境負荷低減も実現する取り組みをご紹介します。

事業説明02 未利用資源活用・新技術活用による新商品開発

福田 健二

帯広畜産大学
グローバルアグロメディシン研究センター長
生命・食料科学研究部門 食品科学分野 教授



チーズホエイ等の有効活用による高収益性の確保や、消費者の「健康志向」ニーズに応える乳製品の商品開発・高付加価値化に取り組んでいます。乳研究の活性化を通じて特徴ある商品開発を促進する取り組みをご紹介します。

事業説明03 3大学連携における融合教育の展開と大学改革

岩本 博幸

帯広畜産大学 学長補佐
高度人材共創センター長
環境農学研究部門 農業経済学分野 教授



農学・商学・工学を融合させた「フードバリューチェーンコーディネーター人材育成プログラム」を始めとする融合型教育プログラムを開発・実施することで、即戦力人材を地域に輩出していく取り組みをご紹介します。

会場へのアクセス



車でお越しの方

とかちプラザ駐車場 80台

※満車の場合は、帯広市役所南側来客者駐車場又は周辺の一般駐車場をご利用ください。

※帯広市役所駐車場に関する認証印は、とかちプラザ1階総合案内、2階事務所にて受けることができます。

電車でお越しの方

帯広駅南口より徒歩2分

お問い合わせ先

十勝型フードシステム形成推進協議会 事務局（北海道国立大学機構 経営企画課内）

TEL:0155-65-4334 Email:kikaku01@office.nuc-hokkaido.ac.jp

主催：十勝型フードシステム形成推進協議会（帯広市、北海道国立大学機構、とかち財団）